第１５号
2012年12月10日

尾張旭市立東中学校

この通信は、3年生のみなさんと保護者の方々に向けて、編集・発行しています。
http://www.owariasahi.jp/higashi-j

編集：深谷勇子

見直そう自分のこと、クラスのこと

人権週間（12月4日～10日）

今年の第64回人権週間のテーマは「みんなで築こう人権の世紀　～考えよう相手の気持ち　育てよう思いやりの心」です。

東中では、給食の放送で人権週間についての説明と「金子みすずーわたしと小鳥とすずと」の詩（歌）を紹介してます。「わたしと小鳥とすずと」は、それぞれが別々で、でもそれに優劣はないことを、それぞれが素晴らしいのだということを、表現しています。「みんないい」、すてきな言葉ですね。

人権週間が終わっても、「思いやりの心」は忘れてはいけません。これからも、考えて行動しましょう。

12月7日の中日新聞の「発言」から高校生の「見て見ぬふりまずなくそう」という発言を紹介します。

中学時代、私はいじめの現場に第三者として遭遇しました。いじめている側といじめられている側の両方と仲の良かった私はとても悩みました。悪いことは悪いと友達に言うのが当たり前と思っていたけど、実際にその場に遭遇したら言えませんでした。片方の見方をしたら、もう片方とは友達ではなくなるのではないか。そう思っている自分が嫌で、一日中モヤモヤしていました。次の日私は双方の話を聞いて、双方それぞれに間違っていることについて言うことができ、二人は仲直りしました。いじめがなくならない一番の理由は、第三者が見て見ぬふりをしているからだと思います。いじめる側はもちろん、いじめを見て、何となくいじめる側に回ってしまう人も悪いと思います。いじめている人に勇気を出して注意をし、それで裏切る友達なら、それは本当の友達ではありません。友達とは、悪いことは悪いとはっきり相手に伝えることができ、楽しいときは一緒に笑い、辛いときは支え合える人のことです。この社会からいじめをなくしたいと心から思います。

新研究　7日で終了しました。この後は・・・

自分の進路にあった学習の仕方を工夫し、取り組みましょう。　例えば、

・新研究２回目に挑戦（直接問題集に書き込む）
・新研究１回目で間違ったところやわからなかったところに挑戦
・新研究のまとめの部分
・私立の過去問題
・学年末テストの内容

とにかく、コツコツと毎日積み重ねて学習することが大切です。

世界はあなたのために回っていない（武藤貴宏『人生本気で生きる』）

人はすぐ環境に文句を言う。

・友達や先生が悪い
・学校や家が悪い。
・社会が悪い。

自分に都合の良い環境をだれかが提供してくれることはない。自分の居場所は自分で切り開くしかない。